

音響機器

ハイ・インピーダンスとロー・インピーダンス、どちらを選べば良いですか？

A.
判断のポイントは、スピーカーケーブルの総延長距離です。

基本的な目安

- スピーカーケーブルの総延長が20m以内
ロー・インピーダンスがおすすめ
- スピーカーケーブルの総延長が20mを超える
ハイ・インピーダンスがおすすめ

それぞれの特徴

ロー・インピーダンス方式

- 音質・音量面で有利
- ライブ・演奏用途に向いている
- 20m以上長距離配線の場合
太く高価なスピーカーケーブルが必要
配線作業の難易度が上がる

ハイ・インピーダンス方式

- 長距離配線に強い
- 細めのケーブルでも安定して使用可能
- 複数スピーカーをまとめて配線しやすい
- 音質より「安定性・施工性」を重視する用途向き

用途別のおすすめ

- ライブスペース/音楽演奏が主体
ロー・インピーダンス
- 店舗BGM・美容室・施設内放送など
ハイ・インピーダンス

特に、BGM用途でスピーカーケーブルを長く引き回す場合は、
施工性・コスト・安定性の面から
ハイ・インピーダンス方式が最適です。

導入・買い替えをご検討中の方へ

機材の組み合わせや設置環境によって最適な構成は異なります。

ページ 1 / 2

音響機器

当店ではご購入前提のお客様に限り、機材選定のサポートを行っています。

- 具体的な導入予定がある方
- 機材の購入をご検討中の方

添付ファイル:

一意的なソリューション ID: #1155

製作者: 猶崎 恵太

最終更新: 2026-02-11 10:59